

～森林組合だより～

第 21 号 令和 8 年 7 月

発 行 そらち森林組合

樺戸郡新十津川町字中央 302-1

TEL 0125-76-2051

FAX 0125-76-2760

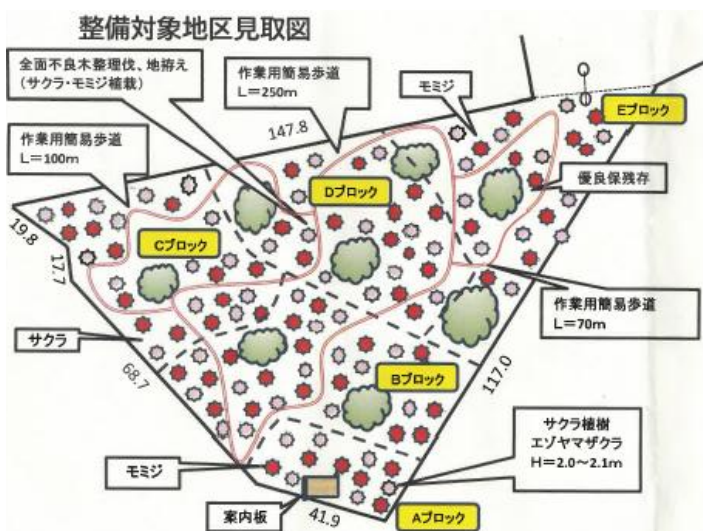
岩見沢支所、美唄支所、月形支所

川西記念の森 除幕式

5月26日（火）、美唄市において「川西記念の森」整備の着工式が執り行われました。主催者である「北海道に森を創る会」をはじめ、山林および多額の賛助会費を寄贈された川西様（初代そらち森林組合 代表理事組合長）、美唄市シルバー人材センター理事長らが参列し、記念看板の除幕が行われました。

「北海道に森を創る会」では、会費や寄贈等を原資に、放置された山林や原野を整備する「森林トラスト運動」を中心に、2006年から道内各地で森づくりを進めています。

今回の整備にあたっては、川西様より寄贈された約 1.86ha の山林のうち 0.95ha を活用し、エゾヤマザクラおよびヤマモミジが植栽され、「川西記念の森」として整備が進められていく予定です。



「川西記念の森」は、寄贈された川西さんの要望に沿い、春には桜、秋には紅葉が鑑賞できる山林になるよう、令和8年から令和12年までの5か年計画で、左の見取図のように整備が進められます。

第1回現地研修会が開催されました

6月2日（火）、道央地区未利用バイオマス供給協議会は、石狩市浜益地区で令和8年度の第1回現地研修会を開催しました。研修会では、林地に残る枝条や伐根を現地で一次粉砕し、運搬効率を高める実証実験が紹介されました。

従来4～5トンだった積載量を、粉砕により15～20トンへ大幅に増加させることを目指す取り組みです。高性能粉砕機の導入費用や追加作業などの課題はあるものの、ネズミ被害の減少や植付面積の確保など、林業現場での効果も期待されています。

この実証は約3か月にわたり行われ、未利用バイオマスの有効活用に向けた重要な一歩となります。



接ぎ木の技術を学びました

4月28日（火）、美唄の林業試験場を訪れ、昨年に引き続き、職員の方からクリーンラーチの接ぎ木方法を教わりました。

クリーンラーチとは、優れた形質を持つカラマツとグイマツを交配してつくられた苗木品種で、炭素固定能力に優れていることから、今後の森林づくりを支える重要な樹種として期待されています。

当組合では、新十津川町内にある組合所有山林を採種園として整備し、クリーンラーチの養苗に取り組んでいます。今回、職員の指導を受けながら接ぎ木した苗木は、2028年春まで林業試験場で育苗していただき、その後は当組合が引き継いで養苗を進める予定です。



接ぎ木したばかりの苗木



今年、確認できた球果

木材市況について

北海道の木材市況は、全体として落ち着いた状態が続いており、価格にも大きな変化はありません。エゾマツ、トドマツの原木は、冬期に伐採した材が十分に入荷されているため、在庫にゆとりがあり、安定しています。カラマツの入荷は順調で不足はありませんが、需要がしっかりしていることから、一部で値上がりの動きが見られます。

一方、製材品の動きはまだ鈍いものの、住宅建築がわずかに増えている影響で、少しずつ改善の兆しが出ており、今後の木材の流通や需要の回復が期待されますが、イラン情勢の影響による建築資材の高騰・工期の遅延など、外部環境の変化には注視が必要な状況となっています。

原木・工場着 m³

(単位: 円)

素材	規格	日付	12～14cm	16～18cm	20cm以上
カラマツ素材	2.2～2.4m	令和8年2月24日市況	8,000	9,000	10,500
		令和8年6月22日市況	8,500	10,000	11,500
		対比	500	1,000	1,000
	3.65m	令和8年2月24日市況	10,300	12,300	13,300
		令和8年6月22日市況	10,800	12,800	14,300
		対比	500	500	1,000
トドマツ素材	3.65m	令和8年2月24日市況	10,200	11,200	13,200
		令和8年4月20日市況	10,500	12,500	13,500
		対比	300	1,300	300

原木・工場着 m³

(単位: 円)

パルプ材	日付	カラマツ	トドマツ	広葉樹
	令和8年2月24日市況	6,700	7,500	9,300
	令和8年6月22日市況	6,700	7,500	10,000
	対比	0	0	700

住所や名義変更があった皆さまへ

会議資料などの郵便物が届かないケースが見られます。お手数をおかけしますが、次のような変更があった場合は、組合までご連絡ください。

- ・ 住所が変わったとき（転居）
- ・ 氏名が変わったとき
- ・ 山林を売ったり買ったり、譲ったり譲り受けたりしたとき ※登記済証の確認
- ・ 相続が発生したとき、または被相続人となられたとき ※登記済証の確認
- ・ 組合への加入・脱退をされるとき

ご連絡をいただければ、必要な書類をお送りいたします。また、組合ホームページからも各種届出書類をダウンロードしていただけます。

地区別懇談会を開催します

令和8年度の地区別懇談会を、10月27日（火）・28日（水）・29日（木）の3日間にわたり、管内5会場で開催いたします。

当組合からは、販売情勢や事業の取り組み状況などについてご説明するほか、組合員の皆さまがお持ちの山林の現状や管理に関するご質問にもお答えいたします。

お住まいの地区に関わらず、ご都合のよい会場へご参加いただけますので、ぜひご出席ください。なお、道内にお住まいの組合員の皆さまには、開催場所などの案内はがきを郵送いたします。

10月27日（火）	【午前】 美唄地区	ピパオイの里プラザ
	【午後】 砂川・奈井江地区	地域交流センター ゆう
10月28日（水）	【午前】 新十津川地区	総合健康福祉センター ゆめりあ
	【午後】 岩見沢地区	市民会館 まなみーる
10月29日（木）	【午前】 月形地区	交流センター つき・あえーる



「木の中の未来素材 — セルロースナノファイバーの力」

森林の恵みである木材は、家の建材や燃料として使われるだけではなく、実は私たちの暮らしの“見えないところ”で静かに働いています。そんな木材の驚くべき使われ方のひとつが、次世代のスーパー素材として注目されるセルロースナノファイバー(CNF)です。

セルロースナノファイバーとは、木材などの植物に含まれるセルロースをナノサイズ(3~100nm)まで細かくほぐした植物由来のナノ素材で、鉄の5倍の強度を持ちながら重さは1/5、生分解性があり、繊維が細いほど透明なフィルムにもなるという、驚くべき特性を備えています。木材から鉄より強い素材が生まれるのは不思議に思えますが、木の主成分であるセルロースはもともと非常に強い分子構造を持っており、それをナノレベルまでほぐすことで「木の中に隠れていた本来の強さ」が引き出されるのです。

このセルロースナノファイバーは、すでに自動車部材(軽量化による燃費向上)、電子機器(透明フィルム・強化材)、包装材(プラスチック代替)、化粧品(増粘剤・保湿材)、医療分野(生体適合性素材)など、強い・軽い・透明・環境に優しいという4拍子が揃った最先端素材として幅広い分野で活用が進んでいます。また、工業用途向けに加工されたCNFは食品として直接食べることは想定されていませんが、食品用として安全性が確認されたものはヨーグルトやドレッシングなどの増粘剤・安定剤として利用されており、私たちは知らないうちに口にしているかもしれません。